

玉重委員（自民議連）

令和7年3月10日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）教員の働き方改革の課題を踏まえた令和7年度の取組について

働き方改革の課題を踏まえて、教員の負担軽減に向けた新たな取組など、力を入れて取り組んでいく必要があると考えるが、来年度はどのように取り組んでいくのか、教育長に伺う。

（答）

学校の働き方改革の課題を踏まえた来年度の取組といたしましては、教員が、業務を効率的に行うためのICT環境の整備など校務DXの推進や、教員の業務をサポートする人材の配置による負担軽減に取り組んでまいりたいと考えております。

具体的には、

- ・ 今年度、県立中学校及び高等学校全校に導入した「採点支援システム」について、公立高等学校等入学者選抜での利用拡大に向けたICT環境の構築や、
- ・ 教員の事務的業務等を補助する「スクール・サポート・スタッフ」の配置の充実により、教員が本来業務に専念できる環境の整備

などの取組を進めてまいります。

こうした取組を着実に実施し、教育の直接の担い手である教員が、心身ともに健康で、働きやすさと働きがいを両立し、日々、子供たち一人一人と向き合うことができるよう、教員の働き方改革を一層推進してまいります。